

行橋市立延永小学校学校通信
(2018年・平成30年度)

延小だより No.20

February 2月8日 発行

【学校目標】
豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤 勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

春はまだ先？

2月になりました。俳句の世界(季語)では春です。とはいっても、まだまだ寒さは続くようで(先週は、記録的な寒波が襲来。日本各地で降雪を記録。一部地域は暴風雪警報も発令されました。)、インフルエンザも、まだまだ猛威をふるっています。本校のインフルエンザはようやく終息を迎えつつありますが、種類の違うインフルエンザ情報も耳にします。今後も十分な手洗い、うがいなどの予防対策をお願いします。

地震災害避難訓練実施！ ～自分の命は自分で守る～

5日(火)の5校時に『震度6の地震発生。家庭科室から出火。』という想定で避難訓練を実施しました。「運動場に避難」という放送から、指定された場所に、全員が整列しおえるまでに要した時間は3分28秒。騒ぐことも、ふざけることもなく、担任の先生の指示にきちんと従って行動できました。緊張感のある訓練でした。

《避難する時の合い言葉(おはしも)》

お…さない は…しらない
し…ゃべらない も…とらない



“備えあれば憂いなし” “訓練は、無駄ではない！”

* 本年度の教育講演会で聞いた“釜石の奇跡”がまさにこれにあたります。日頃から、最悪な状況を想定しての避難訓練を実施していたことで、多くの命が助かりました。

【釜石の奇跡】 ～これは偶然ではない。訓練、日頃からの心がけの賜物～

◇ 避難の3原則 ◇

- ①想定にとられるな(相手は自然なのだから想定を超える可能性もある)
- ②最善を尽くせ(その時にできる最善の対応行動を)
- ③率先避難者たれ(自分の命を最優先に守り抜くこと)

としょママ（4, 5, 6年生）

～いつもありがとうございます～
ます～



《行橋市児童画展開催についてのお知らせ》

会 場 赤レンガ館（旧百三十銀行）

会 期 2月16日（土）～3月1日（金）

◇閉館日…火曜日

◇開館時間…午前10時から午後6時まで

*最終日は午後3時までです。

転出に係る手続き等についてのお願い

日ごろより本校の教育活動に対してのご理解、ご協力ありがとうございます。

さて、本年度も残り2か月弱となりましたが、もし今後、延永小学校区以外への転出を予定されているご家庭があれば、教育委員会への連絡等を含め、早めの手続きをお願いいたします。

◇ 2月の主な行事 ◇

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|---------------|
| 8日（金） | 学習参観・学級懇談会（6年生親子レク等） | 12日（火） | 図書ママ（1,2,3年生） |
| 13日（水） | クラブ活動 | 15日（金） | 習字ボランティア（3年） |
| 18日（月） | ノーテレビノーゲームデー 記念行事（空撮） | | |
| 19日（火） | 図書ママ（1,2,3年生）、6年生卒業制作 | 20日（水） | 6年生卒業制作 |
| 26日（火） | 図書ママ（1,2,3年生） | 27日（水） | 6年生を送る会 |

◇ 3月15日（金）卒業証書授与式

1人のときに

どうする地震がきたら

地震は、いつ起きるか分からない。授業中かもしれないし、家族と夕食を楽しんでいるときかもしれない。もし1人いるときに地震が起きたら、どうしたらいいんだろう。身を守るポイントを福岡市消防局防災センターの消防士長、東島浩平さん(38)に聞いた。(河津由紀子)

福岡市消防局 東島浩平さんに聞く

割れたガラスが飛び散らないようカーテンを閉める



！ 行動は素早く 物から離れろ

4月14、16両日に最大震度7を観測した熊本大地震では、テレビや携帯電話で緊急地震速報が鳴り響いた。緊急地震速報後、数秒から数十秒以内に揺れ始めるといわれているので、素早い行動が大切だ。東島さんは「巨大地震では、揺れたしたら動くことができません」と話す。

室内にいたら、テーブルや机の下に隠れよう。それがなければ、物が倒れたり落ちたりしない場所にしてやがみ込んで、座布団やバッグなどで頭を守る。台所は、包丁や食器など危ない物が多いので近づかない。外で遊んでいたら、塀や電柱から離れて何も無い場所ではがむ。揺れると何かにしがいみつきたくなる



が、それが倒れることもあるので離れよう。エレベーターの中にいるときに地震が起きたら、すべての階のボタンを押し、最初に止まった階で降りて階段で逃げる。

!! 避難所確かめ 広い道を行く

揺れなくなったら、どうすればいいのか。家族の帰りを待っているのは、また大きな揺れが起きるかもしれないので、勇気を出して1人で避難しよう。前もって家族で自分たちが住んでいる地域の「指定避難所」を確かめ、そこに集合することを決めておこう。発生直後は携帯電話がつかない

!!! 室内チェック 対策は家族で

熊本大地震は夜に起きた。みんなが寝ている部屋は大丈夫かな? チェックしてみよう。一番大事なポイントは「寝ている場所に物が倒れたり落ちたりしないか」。また、ドアの近くに棚やたんすを置かないようにしよう。倒れたら出入口が塞がれ、部屋に閉じ込められるかもしれない。地震で割れたガラスが飛び散ることもあるので、寝るときはカーテンを閉める。枕などの上にスリッパを置いておくなど、危ない物が床に散らばっても避難しやすい。棚やたんすは、大人に相談して、倒れないように金具などで対策しよう。本や辞書などの重い物を下段に、軽い物を上段に置くこと、さつに倒れにくくなる。

東島さんは「災害の発生は防げない。いざというときに命を守るのには、日々の備えと家族の話し合い」と強調するか、家族に呼び掛けて話し合ってみよう。